

第二みみようこども園の

ハッピー☆

いよいよスタートした新年度。
子どもたちの心の中は、ドキドキやわくわくでいっぱいです。



ギュ〜♡
なんだか安心…嬉しい気持ち。



「せんせい、それなあ〜に!？」と、期待のまなざしを向けるCちゃん。
触ってみると「わあ〜!おもしろい!!」
保育者と、目と目を合わせて思わずにっこり♪

新しい環境の中、不安な時にはそばにいてくれる人…「なんだろう?」と興味をもったことを通してわくわくする気持ちを一緒に感じてくれる人…子どもたちの心がほっとほぐれた瞬間には、子どもと保育者の心と心が通う様子がありました。

こうした、大人との関わりを一つずつ積み重ねた4月…“安心”“せんせいでいすき”を土台に、子どもたちがこれからどんな姿を見せてくれるのが楽しみです。
主任 木谷千恵

大好きだよって伝えてね

新学期が始まって1ヶ月が過ぎました。幼児クラスの子どもたちからは私を見るなり、「だれ?」の質問に始まり、手や顔を見つめたり、触ったりしながら、「おばあちゃん?」とか、「えんちょうせんせい?」と不思議そうです。子どもの素直な興味や反応はとても愉快です。

また、小さいクラスの子どもたちも、周りへの観察力は鋭く、0歳児クラスではすでに、担任と私の存在を見分けていて、抱っこしてミルクを飲ませようとしても小さな身体をびよ〜んとのけぞらせて全然飲んでくれません。ところが、担任が変わって抱っこして飲ませると、何事もなかったように、くびくびと飲み始めます。1歳児クラスでも私の抱っこからおしりをむずむずと動かしながら降りて、担任の方へ小さな両手を広げて小走りで抱っこを求めて行く姿があります。4月当初はあんなに抱っこして〜と来てくれていたのに、いつも側にいてくれる人との違いがわかってきているのですから、子どもの生きる力には改めて驚かされます。どのクラスにおいても、子どもたちは新しい生活の中で、たくさんの人と関わりながら、毎日いっぱいの刺激を受けて自分の世界を広げています。きっと、たくましく成長していくに違いありません。

まだまだ登園時には涙が出てしまうこともあって、保護者の方はわが子の泣き声に、後ろ髪をひかれながらお仕事に向かわれていることと思います。

毎年、新学期には思い出す言葉があります。乳幼児教育実践研究科の井桁容子先生が、『子どもは魔法のような感性を持っていて、思っている以上に大人の心を感じ、受け止めてくれている。抱っこだっこと子どもが言うのは、お父さんお母さんの様々な大変さを察して、子どもが抱きしめてくれているのかも』と言っておられました。なんと、抱っこされてるのは大人の方だと発想を変えてみると、愛しく思えてきますね。忙しい朝の抱っこは大変ですが、安心感で心が満タンになれば、少しづつ大好きなことを見つけ、「明日もまた遊びたい」と、園生活を楽しみにするようになっていくことと思います。求めている時には求めているだけ応えてあげるのが良いと思います。

先日の親子遠足では、9台の観光バスでの大移動となりましたが、集合時間や安佐動物園でも、みなさんの協力のおかげでスムーズに、無事に終えられたことに感謝申し上げます。今月は参観日と保護者総会、そして幼児クラスの希望者の方には親睦会もあります。ひまわり会総会や親睦会では、繋がり場となりますよう準備しています。園での様子を見ていただける機会ですので、ぜひご参加ください。

また、6月8日(土)には、運動会を予定しています。子どもたちの話を聞きながら、好きなことが元気いっぱい披露できるといいなと思っています。予定をあけておいてください。 園長 奥本道子